

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	コミュニティプラザ管理事業			会計	款	項目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	商工課			
施策	5-3	誰でもが安心して働ける環境・基盤づくり		主管課長	金子	孝行		

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	労働者（市内在住者及び市内在勤者）	意図	労働者の福利厚生を補完する。
事業内容	指定管理者に施設管理運営業務を委託し、適正な運営管理と独自事業を行っている。公共施設予約管理システム等の一部の運営費用は市が支出している。			
事業開始から現在までの状況変化	労働者の福利厚生施設として、平成2年に勤労者総合福祉センターを平成3年に勤労者体育施設を開館し労働者の福利厚生に寄与してきたが、施設の移管に伴い、有効活用を図るため利用範囲を拡大し地域の融和施設として市民を中心に利用者も増加している。一方、建設後20年を経過しており設備等が老朽化し小破修繕が増加している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	施設利用者	108,578	112,073	110,846	
②	施設の稼働率	84.10	89.30	88.40	%	→→	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者は、利用者の立場にたって利便性の向上に努めている。 地盤沈下に伴う徒渉プール改修等を実施した。 指定管理者から部品の製造停止によるエレベーターの改修及びプール棟の雨漏り改修の必要性について要請があることから適切な対応に努める。 放射性物質の除染後のモニタリングにより監視する。 			
事務事業の総コスト(a=b+c)	315,258	782,042	270,267				
事業費(b)(円)	315,258	782,042	270,267				
うち一般財源	315,258	782,042	270,267				
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	利用者の利便性の向上を図るため、施設維持に努める。	③取り組みの課題	施設の老朽化への対応として、小破修繕は指定管理者が実施しているが、今後の大規模改修に対する計画的修繕の必要性がある。
②今年度(H26)に実施した取り組み	指定管理者において小破修繕を実施した。	④今後の改善計画	引き続き、指定管理者と連携を図り適正な管理・運営に努めると共に雨漏り等の確認を行い計画的かつ適切な対応に努める。